

第59回 作曲作品演奏会 Minorité

— みのりてを迎えて —

Minorité

みのりて（小阪亜矢子
Mezzo Soprano／今井貴子
Flute／北嶋愛季 Violoncello）
は、ヨーロッパで研鑽を積んだ
音楽家3名により2022年に
結成された室内楽団体。
フランス語の「マイノリティ
（minorité）」に由来する名
のもと、近現代の知られざる
作品や邦人作曲家の作品、
新作初演をはじめ、シアター
ピース、即興、フルクサス作
品、身体表現や合唱とのコ
ラボレーションなど、多彩な
音楽表現を探究している。独
自の編成によるレパートリー
の開拓と、ジャンルや時代、
国境を越えた音楽の可能性
を提示し、新たな聴取体験
を発信している。



©山下貴史

Program

- 菅田 晟吾（学部2年）
『Tuttut tututut tututut
tututut tutututut
tutututut tututututut』（初演）
- 長谷川 修也（学部3年）
『価値化』（初演）
- 船津 華琳（学部2年）
『？』（初演）
- ヘルムート・ラッヘンマン
『temA』（1968）
- エリック・オニヤ
『Fünf Lieder I-III』（2003）
- 安野 太郎（本学准教授）
『君が名古屋で生まれた日』（2023）
- 渡辺 裕紀子（本学准教授）
『見えない世界のための子守唄』（2025）
- ※演奏順未定。プログラムは変更となる場合がございます。

愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻作曲コースでは、学生が創作した作品をプロの演奏家との協働を通じて発表し、創作を深める場として、作曲作品演奏会を毎年開催しています。第59回となる今回は、室内楽団体「みのりて Minorité」を迎え、メゾソプラノ、フルート、チェロのために書かれた、学内公募により選出された学生の新作3曲と、みのりてのレパートリー作品をお届けします。また、前日には本公演への選出に至らなかった作品についても、公開リハーサルを通して、実際に音にする機会を設けます。

2026年12月6日[日] 14:00 開演
(13:30 開場)

入場無料・全席自由

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※事前予約不要

公開リハーサル
&
ワークショップ

12月5日[土] 14:00 開始 (13:30 開場)

選外作品を活用したワークショップと、
コンサートで演奏される作品の公開リハーサルです。

会場

愛知県立芸術大学 室内楽ホール

お問い合わせ

愛知県立芸術大学芸術情報・広報課
(受付時間平日 9:00~17:30)

☎ 0561-76-2873

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

🌐 <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

アクセス

◆名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、
東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、
徒歩約10分
もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅
または「藤が丘」駅からタクシーで約15分

◆豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、
東部丘陵線（リニモ）に乗り換え
「芸大通」駅下車、
徒歩約10分

